

七草にこめて

3学期始業式(1月7日)校長講話

みなさん、おはようございます。新年になって初めて顔を合わせますので、全員で新年の挨拶をしましょう。明けまして、おめでとうございます！！今年も、宜しくお願いします。新しい年にふさわしい清々しい挨拶ができましたね。皆さんの元気で明るい顔をみることができ元気な声を聞くことができ、大変嬉しいです。今日も寒い朝ですが、みんな元気に学校に来ることが出来て本当に良かったです。校長先生は飯田市の家で正月を過ごしました。近くの元善光寺



飯田市 元善光寺



リニア中央新幹線 工事中

というお寺に初もうでに行ってきました。お寺から天竜川のほうを見ると、リニア中央新幹線の橋を作る工事がだいぶ進んでいました。皆さんのが大人になるころには完成していると思うので、その時はぜひ飯田からリニア中央新幹線に乗って東京や名古屋まで行ってみてくださいね。

さて、この冬休みはお家の皆さんと楽しく過ごせたでしょうか。2学期の終業式でお話ししましたが、1月1日の元日には、この新しい年にどんなことを頑張っていきたいか考えましたか？ただ今は、6年生の皆さんのが新年の決意・目標を発表してくれました。今年はこんな事をがんばるぞ、という気持ちがいっぱい伝わってきました。嬉しいですね。新年の節目を大切にして、気持ちを新たに発表をしてくれてありがとうございます。この後、それぞれの教室でぜひ友達と一緒に今年頑張りたいことを話し合って、改めて新年の決意を固めてほしいと思います。



話は変わって、今日は七草がゆのお話をします。今日は1月7日ですが、みなさんのお家では七草がゆをいただきましたか？七草がゆは、古く中国より伝わり、1月7日に1年無病息災・招福祈願つまり、みんなが病気にならないで元気に過ごせますように、幸せに過ごしますようにと、願いながらおかゆを食べます。この七草がゆに入れる春の七草の種類は、「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」の7つです。

先生が子どもの頃はなぜだか知らないけど必死になってこの7種類をおぼえたような気がします。全部の草は集められないで大根の葉っぱや野沢菜の漬物だけ入れて食べていたような気がします。

ゴギョウはハハコグサ、ハコベラはハコベ、スズナはかぶ、スズシロは大根のことです。

最近は右の写真のようにセットでパック詰めされてスーパーで売られています。この七草のパックは、たて18cm、横10cm、厚さ5cmほどの大きさで、この大きさに収まるように、それぞれの七草をうまく育てるのも大変な作業なんだそうです。神奈川県の三浦半島にある生産会社では、鮮度が命なので年末からお正月にかけて約300人のアルバイトを集めて、全部手作業で全国に出荷しているそうで、1月4日に最後の出荷を終えたということです。もし、このような七草のパックをスーパーで見かけたら、今日の1月7日に間に合うように頑張って出荷してくれている大勢の農家さんやアルバイトさんの時間もぎゅっと詰まっていることを思い出せらえるといいかなと思います。この七草をおかゆにして1月7日に食べる七草がゆの習慣は、江戸時代に広まったそうです。七草の種類は時代や土地によって異なり、七草がもっと多くなったり、少ない場合もあったそうですが、いつの時代もどんな土地でも、年のはじめに作物がたくさん取れることを祈って、「今年も家族みんなが元気で暮らせますように」と願いながらおかゆをいただくことはずっと変わらず受け継がれています。附属小のみんなが新しい1年を病気や怪我無く、元気で友達と楽しく暮らすようにと願いながら今日の食事をいただきたいと思います。

今年はうま年です。目標は1歩より2歩先へ。馬のように勢いよくダッシュしてみんなで目標へ辿り着きましょう！うれしいことやできるようになることがたくさんある1年にしたいですね！終わりります。



MGプレス令和7年12月26日(金)、
27日(土)版に「120周年特集」
として掲載されました。

ぜひご覧ください。